

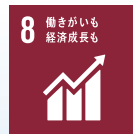
関東精機株式会社

SDGsの取り組み

1. 財務的な利益の実現に加え、
社会的な利益の追求を目指し、
事業活動を行う。



2. 「先が読めないこと」を前提に、
これまでの方法にとらわれない、
新たなチャレンジに積極的に取り組む。



3. 多様な見方や考え方を尊重し、
「付加価値を追求する＝自らの強みを伸ばす」
組織へのアップデートを図るため、
学習と実践の機会を増やす。



当社のSDGsの取り組みについては、
こちらよりご覧いただくことができます。



2022
CREDO 62

関東精機 第62期（2023年4月期）
クレド

企業使命

ブランドを支えるブランドでありたい

We stand behind the brand.

経営理念

1. 私たちは、開拓者精神をバックボーンとして、新製品・新技術の開発に絶えずチャレンジし、産業界の技術向上に寄与する。
2. 私たちは、長期かつ安定的な雇用環境を創り、確実な収益を確保し、仕事にやりがいを見出す。
3. 私たちは、国内外のパートナーおよびサプライヤーと共に、「勝てるバリューチェーン（価値の連鎖）」を構築する。

経営方針

「ブランドを支えるブランドでありたい」というミッションのもと、時代の中で社会がどう変わっていくのかを常に考えながら、自社のもつコア・コンピタンスを磨き、社員それぞれが「あるべき姿」をたゆまず追求し、そのパフォーマンスを最大限に発揮する。

短期ビジョン

地域を代表する中堅企業に変革し、
顧客と社会の課題解決のため、成長を続ける企業になる。

62期 基本方針

「ものづくり」を刷新することにより、価値ある製品の実現を達成し、
売上を拡大しつつ、顧客に対し安定供給を果たす。

62期 基本行動（モットー）

「人の和」を意識しながら、「ワンチーム」で行動する。

2022年5月1日 制定

品質方針

全ての顧客に対し、本質的な満足をお届けする

私たちの顧客は、非常に高い精度や生産効率を誇る、工作機械や半導体製造装置といった「生産財」のメーカー、およびそれらで加工される部品や製品を生み出す、優れた「生産現場」であり、いずれの企業も極めて高いブランド力を持っています。

こういった「ブランド」を支える製品およびサービスを提供する私たち自身もまた、顧客と共に歩む「ブランド」としての存在でありたいと考えています。

事業領域と立ち位置を自ら定義し、国の内外で、工作機械や半導体製造装置をはじめとする「生産財」のパフォーマンス向上、および「生産現場」の自動化といったテーマにおいて、日々の仕事に誇りを持ちつつ、顧客の「ブランドを支える」製品を創り出し、サービスを提供することが、私たちの使命であり、経営の基本方針です。

全ての顧客に対し、本質的な満足をお届けすることを目指し、全社一丸となって活動するとともに、市場動向、技術革新などの社外環境の変化に応じて、この方針及び目標の見直しを適宜図ります。

環境方針

環境に調和する企業活動を通じて社会に貢献する

私たちは、地球の生態系と自然環境の保全が、人類共通の最重要課題であること認識します。**環境に調和する企業活動を通じて社会に貢献すること**を実現するために、必要な経営資源を確保し、循環型社会の一員としてふさわしい、持続可能な事業を展開するために、以下の方針を定めます。

- 1) 温暖化防止のための開発を推進し、継続的活動を行います。
- 2) ライフサイクルを考え、環境負荷が少ない製品を供給します。
- 3) 事業活動におけるエネルギーの削減に取り組むとともに、周辺に対する環境保全にも配慮し、地域社会との調和を図ります。
- 4) 国内外の環境関連法などを遵守し、遵法精神を全従業員と共有します。
- 5) 環境情報は、適時に開示します。

これらの方針は、社内外に公表します。

2022年5月1日 制定